

喜界町



議会だより

167号

平成29年5月15日発行



初寄港歓迎セレモニー(にっぽん丸)



主
な
内
容

平成29年度 一般会計当初予算・・・	2
常任委員会報告	5
一般質問に4名が登壇	7
議会のうごき・人事	11
読者の声・編集後記	12



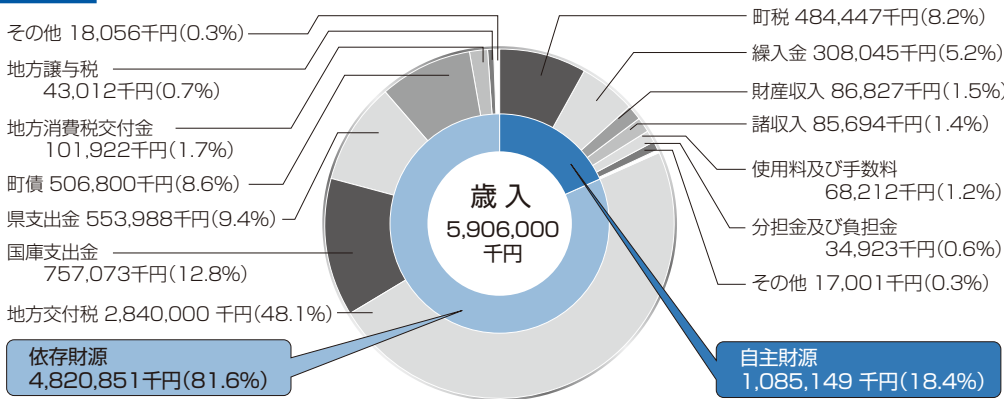
発行／喜界町議会 編集／議会広報編集委員会
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

平成29年度 一般会計当初予算 前年比 9,507万円(1.6%) 増の 59億600万円

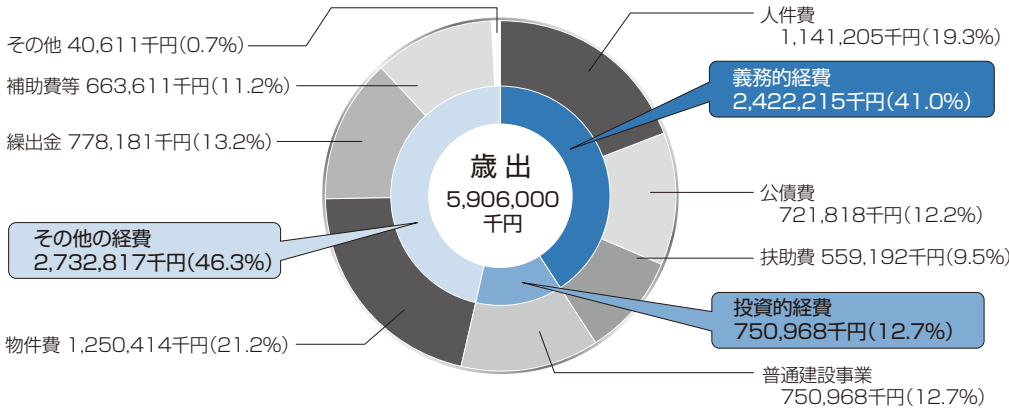
平成29年度 一般会計当初予算

(単位:千円)

歳入



歳出《目的別》



平成29年度 各会計予算総括表

(単位:千円)

会計	本年度		前年度		前年度比較 (A-B)C	増減比 % (C/B)
	当初予算額 A	構成比 %	当初予算額 B	構成比 %		
一般会計	5,906,000	59.7	5,810,928	57.0	95,072	1.6
特別会計	3,994,540	40.3	4,376,297	43.0	-381,757	-8.7
国民健康保険特別会計(事業勘定)	1,354,182	13.7	1,355,957	13.3	-1,775	-0.1
直営診療施設勘定	25,154	0.3	24,989	0.2	165	0.7
簡易水道事業特別会計	969,661	9.8	1,337,899	13.1	-368,238	-27.5
屠畜場事業特別会計	1,648	0.0	10,034	0.1	-8,386	-83.6
介護保険特別会計	962,125	9.7	948,533	9.3	13,592	1.4
老人福祉施設事業特別会計	342,369	3.5	367,321	3.6	-24,952	-6.8
農業集落排水事業特別会計	55,349	0.6	45,630	0.4	9,719	21.3
公共下水道事業特別会計	188,052	1.9	188,034	1.8	18	0.0
後期高齢者医療特別会計	96,000	1.0	97,900	1.0	-1,900	-1.9
合計	9,900,540	100	10,187,225	100	-286,685	-2.8

平成二十九年第一回定例会は、三月二日から十五日までの十四日間開催されました。
初日は、施政方針並びに平成二十九年当初予算について説明があり、平成二十八年度一般会計補正予算・特別会計補正予算七件及び大島農業共済事務組合規約の変更八件を可決し、平成二十九年一般会計予算・特別会計予算九件は予算

審査特別委員会に付託し、条例十三件は各常任委員会へ付託しました。
十三日に四名の議員が登壇し、一般質問がありました。
十五日の最終本会議に予算審査特別委員会に付託された、平成二十九年一般会計予算・特別会計予算、各常任委員会に付託された条例十三件を可決しました。

平成二十九年当初予算の主なもの

農林水産業費

※農産物産直売所設置促進事業二百五十万

※地域園芸活性化事業三千万

◆新規

※再生可能エネルギー導入検討事業一千万

質問

再生可能エネルギー導入検討事業について

答弁

地下ダム電気代を賄うために検討する事業で外部有識者来島費、環境省打ち合わせ費、先進地視察等全て補助対象であり、計画はコンサルタントに委託。

※木のあふれる街づくり事業四千五百万

質問

木のあふれる街づくり事業について

答弁

鹿児島県材を使用し、空港の高倉、スギラビーチ、てくてく教室等、幅広く整備をする事業。



段ボールストックヤード(クリーンセンター隣に予定)



木のあふれる街づくり事業(休養村)

衛生費

◆新規

※段ボールリサイクル推進施設ストックヤード整備費一億

質問

マテリアルリサイクル推進施設整備事業について

答弁

クリーンセンター敷地内に鉄骨づくりのストックヤード建設であるのとこのことです。尚、可燃ごみの約三割が段ボール。

※注釈 マテリアルサイクルとは製品を再利用すること

民生費

◆新規

※新生児聴覚検査公費負担助成金四十万

すべての新生児に対し聴覚検査を行い、早期発見をするのが目的。

※子育て元気ドック費用等助成金二百四十万

PETドック、がんの全身検査等に係る費用及び旅費を助成する制度

八万円×三十人

包括支援センター運営事業費

※高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業費補助金二百十万

質問

高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業について

答弁

高齢者の見守り、仲間づくり、集落活性化のためにグループで取組むもので、高齢者に元気になってもらうということが目的。おおむね六十五歳以上に限る。

商工費

◆新規

※地方創生関連事業百五十万(喜界馬飼育委託料)

質問

喜界馬飼育委託料の受託先について

【答弁】

プロジェクトチームの中で専門家の意見も聞き検討した上で、対応できる人材を選定。

委員の中から、飼育の難しさやセラピーも含め、広く公募する形が良いのではないかという意見もあった。

企画課

※景観計画策定委員報酬十八万

【質問】

景観計画策定委員の人数と目的について

【答弁】

景観を残すことと合わせて、町並みをつくっていくことも考慮し、検討できる人材。鹿児島大学教授を含め十五名。

給食施設費

※学校給食調理等業務委託三千七十万

【質問】

学校給食調理業務委託料について

【答弁】

行革の一環として、防災食育センター調理部門を合同会社喜界給食に



前満盛線(中里)



完成した防災食育センター

委託。

土木費

※道路新設改良工事費五千四百萬

中里

前満盛線改良工事 百m 測量費一式等

※喜界島浦原港改修工事二億九千二百萬

教育費(地方創生関係)

※町奨学資金貸付金四百九十四萬

就学困難者の援助、また農業後継者、医療福祉等の人材を確保することを目的とした貸付金

※スポーツ合宿誘致促進事業九十万

◆新規

※国立大学進学応援事業費七十三萬

【質問】

国立大学進学応援事業費について

【答弁】

内訳として四年生大学二十八万二千円を二名、二年生大学十七万一名分。

消防費

※備品購入費一千五百四十三萬

小型動力ポンプ積載車購入費(志戸桶、滝川分団)、潜用水用機器機材購入費等

公債費

光ブロードバンド過疎ソフト債の償還開始に伴い総額七億二千八百八十一萬



審査する予算審査特別委員会

常任委員会報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員長 榮 哲治 議員

※町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

平成十六年度から町長、副町長、教育長の給与を特例的に10%減額している。依然として厳しい財政状況にかんがみ、平成三十年三月末日まで延長するもの

質疑

他市町村の状況または今後について

答弁

他市町村でも同様に5%〜10%カットを継続している。厳しい財政状況ではあるがいずれは戻す必要がある。

※職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

職員が勤務をしないことで公務に支障がある場合は、休暇等を承認しないことが可能となることなどの改正によるもの

介護休暇を請求できる期間が、三回以下でかつ通算して合計六ヶ月以内の範囲で指定できることになったため。

質疑

介護休暇を取得している職員の数は、

答弁

現在取得している職員はいない

※喜界町奨学金条例の制定について

現行の喜界町奨学金貸与条例及び喜界町医師等修学資金貸与条例を廃止し、喜界町農業後継者育成奨学金支給条例の一部の改正を行い、経済的理由によって就学が困難な者に対して、学資を給付又は貸与を行い、有用な人材を育成すること、並びに本町の農業後継者及び医療福祉等の人材を確保することを目的とした新たな条例の制定

※喜界町小中学校入学祝金支給条例の一部を改正する条例について

平成二十七年四月に施行された小中学校入学祝金支給を高等学校入学まで拡大し、入学時における家庭の経済的

負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援するもの

質疑

対象は喜界高校入学者のみか

答弁

喜界高校のみ

※喜界町防災食育センター設置条例の制定について

本町における大規模災害発生時の食糧供給等の防災に関する事業及び平時の学校給食等の食育に関する事業を円滑に行うため、調理業務等を実施する施設として設置することを目的として制定するもの

質疑

名称が給食センターから食育センターになった理由は

答弁

児童生徒に対し食育推進のための研修にも対応できるつくりになっているため

質疑
現場の状況は

答弁

年度内には建物は完成するが、供用開始時期については協議中である。



審査する総務文教常任委員会

その他

※喜界町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正する条例

※喜界町個人情報保護条例の一部を改正する条例

※辺地に係る公共施設の総合整備計画の一部変更

※喜界町税条例の一部を改正する条例

※喜界町単独住宅管理条例の一部を改正する条例

産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員長 安田 英次郎 議員

※喜界町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

今回の改正理由は 国保加入者が減少している中、保険給付費が増加していることにより、後期高齢者支援金等課税額に大きな財源不足が発生している。その不足分を解消するため、税率

の改正を行うものです。

また、子育て世代などの負担が大きくなりやすいよう基礎課税額と介護納付金課税額の均等割額、平等割額も見直しを行い、これに伴う低所得者に係る保険税軽減額の改正も併せて行うものです。

■ 改正後の税率の比較

	平成 28 年度	平成 29 年度
所得割率支援金分	2.4%	2.9%
均等割額医療分	19,500	17,500
均等割額介護分	6,600	5,600
平等割額医療分	18,000	20,000
平等割額介護分	5,600	6,600

質疑

この改正によりどのくらいの増額になるか。

答弁

全体で二百三十万の増額になると見

込んでいるが、まだ、所得額が確定していないので現在の数値での試算額です。

※喜界町介護保険条例の一部を改正する条例

今回の改正は、平成二十九年四月から消費税十%への引き上げが実施される事を前提に、住民税非課税世帯全体を対象とした保険料軽減完全実施を行う予定としていたが、消費税率十%への引き上げが平成三十一年十月に延期されたことを受け、平成二十九年年度の対応として、現行の第一号保険料軽減を継続するための改正です。

※喜界町農業委員会の委員等に関する条例の制定

喜界町農業委員会定数条例を廃止し新たに農業委員の定数・推進委員の定数を定め平成二十九年七月二十日から施行するもの。これまでは、公職選挙法で九名、議会推薦一名、農協推薦一名、土地改良区一名の十二名でした。

農業委員の定数案十一名の積算根拠については、国の基準においては、農家戸数及び農地面積に沿って政令基準の十四名に対し十一名と設定致しました。旧小学校校区を基本に農家戸数、人口、認定農家数、畑の筆数、面積な

ど町内全域のバランスに考慮した八校区の他、湾校区は湾・川嶺／赤連・池治／中里・羽里・山田地区一人ずつ推進委員の積算根拠は政令基準の農地面積百鈔一人を上限となっていることから、上限二十七名に対し五名と設定。農業委員の十一地区を基準に五名としました。内訳は、旧中学校区で早町中学校二名、第一中学校二名、第二中学校一名です。



審査する産業福祉常任委員会

町政のことが聞きたい

いっっぱい質問

第一回定例会で四名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
岡岡 理一郎 議員

質問 役場行政の法令順守について

質問 障がい者の認定区分を専門家の意見を得ないまま行っていたことや埋蔵文化財の発掘作業において労働基準監督署からは正勧告を受けていることなど役場の法令軽視、無視行為が相次いでおり町民の信頼を損ねている。経緯の説明と原因、今後の対策について伺う。

答弁 町長
平成二十六年・二十七年において、学識経験を有する審査委員の確保の困難さ、悪天候の影響、担当者の一認定遅

れで利用者に迷惑はかけられない」との判断で二次判定は行わなかった。県の指摘により六十三件の二次判定未実施分が判明。これを受け、利用者として施設に経緯の説明とお詫びの文書を発送した。二次審査判定未実施分は臨時審査会を開催している。
今後は、本町での審査会開催や職員への各種研修会など再発防止に努める。

答弁 教育長
埋蔵文化財発掘作業に伴い、雇用の件で不手際があった。関係者及び町民の皆様にお詫びする。今後は法令を遵守し、円滑な埋蔵文化財発掘調査が行えるよう努めます。

質問
臨時職員取り扱い要綱による解雇、採用規定によれば恣意的運用は許されない。見解を求める。

答弁 町長
埋蔵文化財の発掘作業は県の委託事業であり、取り扱い要綱は発掘作業員のことまで想定していない。

質問 臨時職員の待遇について

質問
職員、臨時職員の総数と臨時職員数は？ その構成比、特徴と課題について伺う。

答弁 総務課長
職員、臨時職員の総数は四百七十一人。内臨時職員は三百十二人。就業現場に臨時職員が多いのが特徴。

質問
総務省が労働者性の高い非常勤職員について一般職非常勤職員として給料・手当を支給できる給与体系への方向性を打ち出している。町長の所感は？

答弁 町長
国が一般非常勤職員については、常勤職員と同様に給料及び手当の支給対象とするよう検討している。臨時職員の任用は、法令等の改正や他市町村の状況も見ながら検討していく。

質問 防災対策について

質問
喜界島の想定津波は？

答弁 総務課長
県の予測調査では最大津波高は五・〇九メートルである。

質問
東日本大震災で先人の教えである「津波でんでんこ」を防災教育に取り入れたらどうか。

答弁 教育長
六年前の大震災の折に釜石市の児童生徒三千人のほぼ全員が助かった素晴らしい実例である。今後の管理職研修会等で指導して、避難訓練や防災教育に生かしていく。

質問
公営住宅で想定津波の被害を受ける団地と戸数は？ 建て替え、新設は高台にすべきだと思いが如何か。

答弁 建設課長
浸水被害が起きると想定されるのは、公営住宅の八団地七十三戸、単独住宅の五団地十戸で合計十三団地八十三戸である。
建て替えについては住民の意向調査、周辺の敷地調査等を行い、また高齢者等の利便性を考慮した安全・安心な生活が送れるような立地場所に建設を検討したい。

質問
喜界幹部派出所及び喜界消防分署の海抜は？ 津波発生時の対応は？

答弁 総務課長
幹部派出所が四・二メートル。消防分署が七メートルである。派出所では非難の広報、誘導、交通規制、海面監視などを行う。

質問 消防分署長
強い揺れの場合は、消防車両を総合グラウンド又は休養村管理センターなど高台に配置する。津波注意報の場合は広報活動、津波警報の場合は消防団を招集し、広報・警戒活動を行う。

質問 マイナンバーについて

質問
マイナンバー発行枚数と発行率は

答弁 住民課長
町民に対する発行率は八・

5%である。

質問

国税庁は「確定申告書に番号未記載でも受理し、罰則や不利益はない」としている厚労省や内閣府も柔軟な対応である。その事実を職員と町民に知らせたらどうか。

答弁 総務課長

法律に罰則規定はないが、提示しなければ法律違反となる。理解と協力をお願いしたい。

質問

子供医療費助成について

質問

県は未就学児対象に来年十月から窓口支払いを無料化する。本町では高校卒業まで無料化を検討すべきではないか。

答弁 保健福祉課長

財源確保が課題であるため県の動向を注視していく。

質問

害獣や外来植物対策について

質問

シカ駆除の進捗について

答弁 農業振興課長

小野津ハワイ付近で二頭捕獲。六頭生息している可能性がある。佐手久で罠により一頭捕獲。サトウキビ伐採後本格的駆除を始める。

質問

ホシアサガオ、ギンネム対策の進捗

答弁 農業振興課長

ゴマ栽培者へ管理機の導入助成で七台導入。サトウキビ栽培者へは土壌処理剤の購入一部助成を行っている。農道については予算の範囲内で農地・水組織と連携して対処する。

質問

町民の声「意見箱」について

質問

設置個所と町民の声の件数は

答弁 総務課長

設置箇所は庁舎入口の一ヶ所。意見は過去一年間で一件。

質問

町民の声の特徴、役場内での活用、町民への回答は

答弁 総務課長

集落担当職員から十三件も要望が出されており、農道整備

備に関するものが主である。



質問する 生駒 弘 議員

質問

安定的な水の供給について

国では回復の兆しを見せ始めた経済成長の恩恵を地方や中小企業に着実に広げていくとして、成長と分配の好循環の実現のための生活密着型インフラ整備を推進しています。平成二十九年水道施設整備

を推進する上で欠かすことのできない水道台帳の整備はどくなっているか。

答弁 水環境課長

水道台帳の整備については、平成十五年度から順次計画的に整備を進めている。地区ごとには川嶺地区は整備済み、東部地区は、集落内の排水管はすべて整備済みで、水源、浄水場、排水池等の各施設を結ぶ導水管等が未整備。南部地区は、上嘉鉄集落内の配水管以外は整備済み。西部地区は、施設の整備中で工事の進捗に合わせて整備する。

質問

水道管の更新状況はどうなっているか

答弁 水環境課長

管路の更新については、本町の水道施設も大部分が昭和四十年代に整備されており、国庫補助事業で平成十年度から東部地区、川嶺地区、南部地区と整備を進め、現在、西部地区を整備中で、平成二十九年年度で概ね完成する予定です。

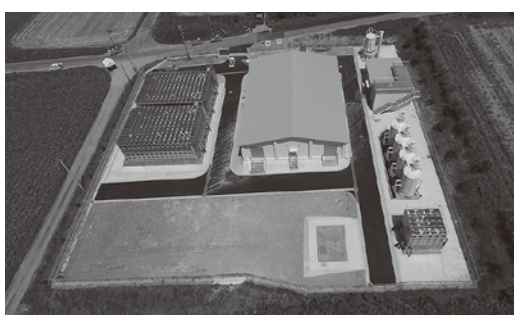
質問

昨年の熊本地震では耐震化の必要性が表面化した。管のつなぎ目に伸縮性を持たせる

耐震化を今後どのように進めるか。

答弁 水環境課長

耐震化の取組みについては、現在整備中の西部地区においては、主要な管路は耐震性のあるダクタイル鉄管で、集落内の小口径の管は、伸縮継手機能のある硬質塩化ビニール管を採用して耐震化対策を行っている。各家庭への給水管についても硬質塩化ビニール管から柔軟性のあるポリエチレン管に変更しています。しかし、整備済みの川嶺地区、東部地区、南部地区の管路については主要な管路も小口径の管と同様に伸縮機能のある硬質塩化ビニール管を採用しているため今後の検討課題と考えております。



西部浄水場

質問 離島カードについて

質問 大学や専門学校へ進学する生徒へ住所変更しても離島割引カードが使えるようにできないか。

答弁 町長

現在、離島割引カードの交付要件が「離島住民（奄美群島に住所登録をしている方）となっております。住所変更した大学生等は対象となっております。また、離島割引カード制度の従来目的が「住民の島外への旅費負担の軽減」であること的主旨から、適用の拡大は難しいと考える。



質問する
榮 優太 議員

質問 ホームページ等の町の情報発信について

本町でも三月議会から喜界町ホームページに議会中継がインターネット配信されています。喜界町在住の方を始め喜界町出身者、全国、世界

に住んでいる方もインターネットが繋がる場所からこの議会をみられるようになりました。日本のインターネット利用者は二〇一五年末で一億四十六万人、人口普及率は、八十三・〇％となり、国民の十人に八人以上の人達がインターネットを使っている事となります。インターネット普及率を踏まえ、また奄美、徳之島世界自然遺産登録の前に本町のホームページが今後いかに活用すべきか明確になってくると思います。以上の事を踏まえ質問致します。

質問

現在、喜界町のホームページは島内向けに作成されている為、島外に向けてはあまり発信されていないのではないかと？島外の人が島に来たくなる住みたくなるような解りやすいホームページ作成はできないか？

答弁 企画観光課長

現在本町では、マイナビ関係、インターネット関係、ログワン（LGWAN）関係の、三つの領域にネットワークを分ける作業を行っています。これによってネットワークの構成が変わる事からこれらの分離作業が終了して

からでなければ、ホームページのリニューアル作業には、移れない状況にあります。なるべく早い時期にリニューアル作業に入れる様、最善を尽くして参ります。また、島の魅力と共に分かりやすい、細かな情報発信をしまいいります。

※注釈（LGWAN）地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワークです。

質問

ホームページ内の一部で更新されておらず古いままの情報に掲載されているが、どのようにお考えか？更新予定はいつ頃か？

答弁 企画観光課長

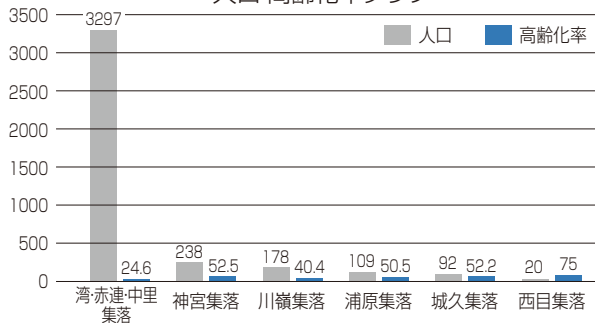
現ホームページに未更新の情報があるとのこと指摘についてですが、ホームページを確認し、更新を指示したところですが、各課には、定期的に情報更新を呼びかけておりますが、こちらで気づいた部分を担当課に連絡し、更新を促してまいりますので、ご理解をお願い致します。

質問

まち・ひと・しごと創生総合戦略について近年、日本の人口は横ばいであり、人口減

少の局面を迎えています。本町での二〇一七年三月現在、人口七千三百四十人高齢化率三十七・一％、二〇六〇年には推計人口四千三百八十二人高齢化率三十九・七％とさほど変わりはないが、集落ごと

人口・高齢化率グラフ



右記の通り大きな差が生じている。本町においても急激に少子高齢化が進んでいき、このままでは限界集落となり、集落消滅の危機さえ訪れます。本町の現状を踏まえ、まち、ひと、しごと創生総合戦略についてご質問します。

答弁 町長

計画の三年目に入り、本町でも平成二十七年から一年が経過致しました。これまでの実績及び成果、課題はどうなっているか伺う。

本町総合戦略は喫緊の課題である人口減少問題や雇用、子育て等における本町特有の課題に対応し、地方創生を成し遂げていくため、（喜界町人口ビジョン）に基づき、平成二十七年より平成三十一年度までの五カ年の取組についてまとめたものです。総合戦略の取組は、政策分野ごとに数値目標、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を五年間累計で設定した上で実行し、成果の最大化の実現を目指しております。総合戦略の取組成果については、五カ年トータルで判断すべきであると考えておりますが、平成二十七年年度に実施した地方創生先行型での事業や本年度実施している事業については、評価結果などから分析いたしましたも、目標達成に向けて確実に前進しているのではないかと考えております。

※注釈（KPI）キー（重要）となる指数で、目標の達成に向かつてプロセスが適切に実行されているかどうかを計測

する役割

質問 今後の取組予定について伺う。

答弁 町長

平成二十九年度の主な取組といたしましては、(喜界馬復活・活用プロジェクト)を実施する予定です。喜界馬を貴重な財産として、ふるさと喜界島で保全、生育し、次世代へ引き継ぐ環境を整え、地域文化を守りつつ、観光・教育分野へも活用して地域活性化を目指してまいります。



質問する
野間 弘也 議員

観光への取り組みについて

質問 奄美群島の一部が、来年夏頃の世界遺産登録に取り組んでいます。そこで本町でも多くの来島者を想定して受け入れの準備をしなければならぬかと思うがどのように考えているか。

答弁 町長

来年には世界遺産登録や大河ドラマ「西郷どん」の放送も控え、奄美群島は追い風の中にあり、喜界町も旅行者の増加が見込まれるところです。喜界島の魅力は、隆起サンゴ礁が育んだ豊かな自然と、人情の豊かさにあると思います。「おもてなしの心で、飾らず無理をしない観光」が、リピーターを増やし、持続可能な観光に繋がると考えています。ハード面では、重要な観光スポットは計画的に整備を行うと共に、必要な案内板は、随時、設置したいと思えます。



トイレの新設はできないか(中西公園)

質問

既存の公衆トイレの管理はどのようにされているか

答弁 企画観光課長

現在、島内二十八カ所のトイレや公園をA・B・C三つの

地区に分け、清掃等を委託しています。トイレの清掃は、週三回(月・水・金)また、芝刈りや樹木の下刈りは、生育状況をみながら行っています。

質問

これからの取り組みについて具体的な計画はあるか

答弁 企画観光課長

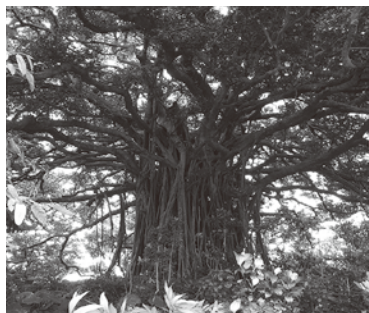
トイレの新設につきまして、近隣のトイレとの距離から考えて、新たに設置しなければならぬ箇所があると考えております。有利な補助事業の活用等、財政状況を踏まえ検討してまいります。

質問

観光名所の見せ方はどのように考えているか。

答弁 企画観光課長

手久津久のガジュマル巨木周辺は、県の「魅力ある観光



手久津久ガジュマル

地づくり事業」を活用し、駐車場や東屋を整備いたします。来年度以降なるべく早く実地設計に入れるよう調整してまいります。

質問

宿泊施設の整備が必要と思われるが、どのように考えているか

答弁 企画観光課長

現在、喜界町の宿泊施設の収容人数は約二百名です。不足が懸念されます。策定中の喜界町観光計画策定委員会の中でも課題として挙げられています。具体的な解決策は、見出されておりません。

質問

ホテル・旅館関係者や観光物産協会と情報交換に努め、引き続き検討してまいりたいと思えます。

質問

公園・街路の整備について

質問

これからの本町の維持、発展にむけては、子育て世代の増加が非常に大きなカギをにぎってくると思えます。日本一子育てしやすい町づくり、また安心・安全に暮らせる町づくりを目指すべきではないでしょうか。

またゲートボールやグラウンドゴルフが盛んな本町でもありません。それからいつ起こるか分からない災害にも備えなければならぬと思います。そのようなことから、遊具があり、ゲートボールやグラウンドゴルフ等もでき、また防災も兼ねた多目的総合公園をつくれぬか。

答弁 企画観光課長

災害、特に津波を想定した高台で、広い土地を確保しなければならぬことや、現在、建設中の防災食育センターとの関連を、整理しなければならぬことから、別の防災関連施設を計画、予算要求をすることは、難しいと考えます。

質問

防犯、防災等安全対策のためにも町内の街灯設備が必要ではないか。

答弁 総務課長

集落内の街灯につきまして、集落にその設置と維持管理をお願いしているところですが、集落外の街灯については、増設は基本的には考えていないところです。事故の危険性など安全面には考慮しながら、設置については検討してまいります。

議会のうごき (3月～5月)

- 3月1日 喜界高校卒業式
- 3月2日 平成二十九年第一回喜界町議会定例会開会
- 3月3・6・7日 予算審査特別委員会
- 3月9日 各常任委員会
- 3月13日 一般質問
- 3月14日 喜界中学校卒業式
- 3月15日 最終本会議
- 3月17日 あゆみ・のぞみ幼稚園卒園式
- 3月23日 喜界・早町小学校卒業式
- 4月6日 小中学校入学式
- 4月7日 喜界高校入学式
- 4月10日 あゆみ・のぞみ幼稚園入園式
- 4月14日 議長・事務局長合同会(奄美市)議長
- 4月14日 新任教職員受入式
- 4月16日 関西奄美会創立百周年記念大会(尼崎市)議長
- 4月26日 県政説明会(鹿児島市)議長
- 5月10日 議員研修会(鹿児島市)全議員
- 5月14日 奄美群島国立公園指定記念式典(奄美市)議長
- 5月18日 奄美群島市町村議員大会(与論町)全議員
- 5月31日 全国正副議長研修会(東京都)副議長
- 5月31日 各種協議会総会(奄美市)議長

人 事

○ 監査委員の選任



監査委員
基井 宏信 氏

任期は、
平成29年4月1日から
平成33年3月31日

次 回
定 例 会

次の議会は、6月上旬を
予定しています。

皆様の傍聴をお待ちしています。

午前 9:30 より
● お問い合わせ先
65-1115

◆ 訂正とお詫び

議会だより166号 諸般の報告中 (P13中段17行目)

団体へ装置開発事業 は
団体営草開発事業 でした。

お詫びして訂正します。

高坂嘉孝（中里）

喜界島に来て十三年の月日が過ぎ十四回目の春を迎える。三月三十一日夜フェリーで島に到着し、翌朝ほんの少し車を走らせただけで他の島にはない独特の雰囲気を感じた。かつて馬が有名だったと言ふこと以外何の予備知識もないままやって来て、時を経る程に興味深い物が山程あることに気付かされた。しかし島の人の多くは「何もない島」だと言う。

十数年前に本格的に始まった城久遺跡群に関わる考古学歴史関連の研究者の来訪が最たるものだが、多くの研究者がやって来る。珊瑚や珊瑚礁の隆起、島の誕生形成に関する研究者は数十年前から頻繁に来島。その分野の研究者懂れの地となり、現在の喜界島珊瑚礁研究所開設に至る。何もないのではない。「他にはない多くの物がある島」なのだ。だが、まだまだ島の多くの人々に意識されるまでになっていない。何故だろうと思う。全国あるいは海外の人々の興味を引いて止まないこの「喜界島」とは一体どんな島なのか、をアピールすることが少ない。そして下手。各自の手段で個人的に

していることも勿論知っているが、公的アピールが弱いと感じるのは私一人ではないだろう。役場全体での盛り上げ取り組みが必須。

さて、依頼されたのが議会だよりへの投稿なので、議会について思うところを書かないといけない。議会だよりを読んでも思うのは、議員の質問が非常に簡略に記され、質問事項についての背景、議員のこだわり思い入れが読み取れない。そのくない答弁ばかり記述されているが、議員の追及、満足できない答弁に対する再質問など、内容のある執念の質疑があれば、議場風景画が目につくような記述編集をお願いしたい。型どおりの質問答弁に終始しているのであれば、議会は町長・役場の政翼賛会的立場としか言えない。

島の諸問題点を知り解決策将来像を語り共有する場が必要。議員は役場職員・町民と広く交歓する場を頻繁に持つてはどうか。

編集後記

議会の活性化を目指し、平成二十九年第一回定例会（三月議会）から新たな取り組みが始まりました。その一つがインターネット中継です。議会に赴かなくても自宅のパソコンやスマホで議会を傍聴できるようになりました。

また、議員の質問時間が答弁時間を含め九十分に変更され、質問方式は、総括的質問・答弁から一問一答方式に改善されました。より突っ込んだ実のある議論ができる条件が整いました。

さっそく、自宅パソコンで視聴された方から改善要望が寄せられています。

要望としては執行部課長席の自席発言の音が聞き取れないとか、ネット中継ではCMが長すぎるなど出されています。当初から課題となっているいつでも観られるように録画アップも喫緊の課題です。

また、議会で傍聴された方々からは真剣さが伝わってきたなどの感想が寄せられました。

町民の皆さまはどのような感想をお持ちになられたでしょうか。

今後皆さまの身近な議会になれるよう努力して参ります。どうぞよろしく願いたします。

文責 良岡 理一郎

議会広報委員会

委員長 生駒 弘

副委員長 河上 弘仁

委員 良岡 理一郎

委員 野間 弘也

委員 峰山 惠喜光

委員 榮 優太